

消費地情報

和歌山県農業協同組合連合会 北海道事務所



はじめに

北海道における本県産夏果実の販売は、青梅・すもも・ハウスみかんが販売されました。青梅は前年並みの高値スタートし、6月下旬まで安定した出荷が続き、販売が終了しました。

今回は、6～7月にかけて実施しました青梅の消費宣伝活動の取組みについてご紹介します。新型コロナウイルス感染症対策に伴い過去2年間は対面での活動ができませんでしたが、本年は感染対策を講じた上で実施することができ、その取組内容について報告します。

店頭消費宣伝活動

本年は、令和元年度以来久々に店頭での消費宣伝活動を実施することができました。感染症対策のため、梅シロップの試飲はできませんでしたが、氷砂糖入りスタンドパック・梅シロップ作成ポット・実物サンプル等多様なツールを使って青梅をPRしました。デモンストレーターの方からリーフレットや氷砂糖入りスタンドパックをサンプル提供して加工方法をアピールし、幅広い層に消費拡大を実施することができました。また、事前に加工方法の資料を配布し、当日のPRトークに活かせるよう促しました。久しぶりの店頭での宣伝販売に購入者の方たちは大変興味を持たれておりました。

来年度以降も売場確保のため、積極的に店頭での消費活動を実施してPR強化に努めたいです。



推奨販売の様子



実物サンプル

青梅加工講習会及び食育活動

6月18日（土）、19日（日）、7月11日（月）に札幌市内量販店・中央市場料理教室・小学校において、JA 紀州梅愛隊、担当職員が来道していただき加工講習会及び食育活動を実施しました。この取組みは、より多くの方々に青梅の加工方法を知ってもらおうと例年実施していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため令和元年度以来の実施でした。人数制限、感染症対策を施した中での実施でしたが、幅広い世代にPRすることができ大変好評を得ることができました。講習会は梅干しや梅ジャムの加工方法、梅シップ作りの実演等説明をして頂き、講師担当者のコミカルなトークも相まって大盛況でした。



東光ストア真栄店にて6月18日（土）実施
札幌市清田区



コープさっぽろルーシー店にて6月18日（土）実施
札幌市白石区



中央市場料理教室にて6月19日（日）実施
札幌市中央区



札幌市立栄小学校にて7月11日（月）実施
札幌市東区



札幌市立澄川小学校にて7月11日（月）実施
札幌市南区

まとめ

ウクライナ情勢や急速な円安等による生活用品の物価上昇、新型コロナウイルス感染拡大等厳しい社会情勢が続きます。

農業情勢においてもウクライナ情勢による農業資材の高騰、産地では生産者の後継者不足、消費地では若年層の食への関心低下・道内の人口減少等、取り巻く環境は日々厳しくなっています。

そのような中ではありますが、北海道事務所では若年層を主体としたより多くの方に本県産果実に興味を持っていただくため、消費宣伝活動を継続的に取組みます。今後、秋冬果実の販売が本格化する中、情勢に見合った新たな取組みを模索して秋冬果実の消費拡大に努め有利販売に繋げていきたいと考えます。